

施策の柱 1 誰もが身近に参加・活動できる環境づくり

- ① 発展を続ける文化芸術活動への支援
- ② 誰もが多様な文化芸術を楽しむ環境の整備
- ③ 人が集う文化芸術活動の場の創出

文化芸術を鑑賞したり活動を行ったりする人の年齢や立場等には偏りがあります。

文化芸術を享受する権利を基本的人権の一部と捉え、市民をはじめ市内で働く人や訪れる人、子供や高齢者、外国人等多様な人々が気軽に参加したり、活動したりできる環境を整えます。これによって、これまで継続的に営まれてきた文化芸術活動をまもるとともに、文化芸術に関わる人の幸福感や自己実現を実感できる機会をつくりだし、誰もが親しめる文化芸術をはぐくみます。

① 発展を続ける文化芸術活動への支援

市民文化祭等継続的に営まれている文化芸術活動に対して、その活動を維持するだけでなく、発展させるための支援を行います。

② 誰もが多様な文化芸術を楽しむ環境の整備

仕事や子育て、介護等に関わる機会が限られる人等、年齢や立場等に関わらず、音楽、美術等の芸術、食文化等の生活文化、歴史的価値のある文化財等、良質で多様な文化芸術に親しめる環境づくりを推進します。

③ 人が集う文化芸術活動の場の創出

市内の様々な団体の活動拠点となるプラザおおるりや公民館等の公共施設の機能向上だけでなく、講座等の活動内容についても充実を図るとともに、人が集い、多目的で柔軟に使える活動の場をつくりだします。



- ① 多様な人々が出会う機会の創出
- ② 地域の寛容さが培った交流の促進
- ③ 文化芸術活動と関連分野の連携による交流の促進

文化芸術活動に興味・関心を持ちつつも、参加していない一定の層が存在します。文化芸術の持つ人と人をつなげる力を活かし、多様な人々が交流する機会をつくりだすことで、文化芸術活動への参加の裾野を広げます。また、外部の視点による評価は、地域の文化芸術の価値を再認識させるとともに、その価値を市内外に発信し、交流の促進につなげていきます。

① 多様な人々が出会う機会の創出

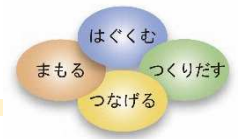
文化芸術を活用し、楽しみながら地域を知ることができたり、新しいものとお出会う喜びを感じたりすることのできるイベント等を開催します。子供と大人、市民と観光客等と一緒に活動できるような、世代や地域を超えた人と人の交流を生み出します。特に市外の人との交流が、地域固有の文化芸術を再認識するきっかけとなることに期待します。

② 地域の寛容さが培った交流の促進

渡渉制度による各地の人々の滞留は、地域に何事もおおらかに受け入れる寛容さをもたらしました。この寛容さは多様な人々の交流を促進させるだけでなく、受け入れた文化を発展させ、地域独自の文化芸術をつくりだす源泉となりました。このような気質を活かして多くの人と文化が行き交う場を創出し、文化芸術活動への参加を促します。

③ 文化芸術活動と関連分野の連携による交流の促進

文化芸術活動を観光やまちづくり等の施策と結びつけ、活用することで文化芸術そのものの価値を高めるとともに、各関連分野との連携によって生じるヒト・モノ・コトの新たな交流を推進します。



- ① 多元的な情報集約の強化
- ② デジタル技術等を活用した効果的な情報の発信

市民をはじめ、人々の生活においてデジタルシフトが進む中、文化芸術に関する情報発信は広報紙やチラシ、口コミ等が多く、情報を受け取る層が固定化し、情報弱者や若年層に届きにくい傾向にあります。また、文化芸術活動団体等は個別に発信した情報を互いに共有し、活用する必要があります。

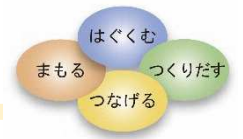
市内の様々な文化芸術活動や各種団体等の情報を効率的に集約し、発信することで、人と人、イベントと人を結びつけるとともに、様々な分野へ文化芸術の力を波及させます。

① 多元的な情報集約の強化

SNSやデジタル技術等を活用して、多様な手法により情報を集約させ、情報の共有化を図ります。

② デジタル技術等を活用した効果的な情報の発信

デジタル技術等を活用し、必要な人に必要な情報が届くよう、効果的な情報発信を推進します。



- ① 地域資源とその背景にあるストーリーの継続的発掘
- ② 交流を促進させる文化芸術の活用方法の構築
- ③ 茶文化の発展と新たな文化芸術の創造

当市を代表する地域資源について、目新しさを感じない、他市町と差別化が図りにくい等の意見があります。

長い時間かけて培われてきた地域固有の資源をまもり、その魅力をはぐくみ、新たな価値を見出します。また、地域資源を源泉とした新たな文化芸術をつくりだします。

① 地域資源とその背景にあるストーリーの継続的発掘

魅力ある地域固有の資源をまもりつつ、普段とは異なる視点で捉えてみたり、他の何かと組み合わせたりすることで、新たな特質を付加し、価値を高めます。また、未だ見出されていない地域資源の掘り起こしを推進します。

② 交流を促進させる文化芸術の活用方法の構築

文化芸術を観光やまちづくり等、異なる分野と連携させることで、その新しい活用方法を見出し、交流を促進させます。また、文化芸術活動やその根源となる地域資源をその背景にある歴史や故事、人物などと結び付けることで特質を付加し、今までにない活用方法を創出します。

③ 茶文化の発展と新たな文化芸術の創造

全国的にもその品質を高く評価されている当市のお茶。茶葉を楽しむだけでなく、お茶に関わる文化に彩りを加え発展させます。また、地域資源を源泉に、若年層や外部の視点を柔軟に取り込み、地域固有の文化芸術をつくりだします。



- ① 市民総がかりで取り組む島田の教育との協働
- ② 自然と文化が織りなす地域資源の再評価、認識、活用

当市には、東海道と大井川のもたらした2つの宿場町と東西文化の交流の歴史、大井川や富士山の景観や身近な生活文化等、誇るべき地域資源が数多く存在していますが、市民にとっては身近すぎるゆえ、その価値が十分に評価されていません。

地域資源を価値あるものとして位置づけ、地域の人々の郷土への愛着や誇りの形成に繋がるよう、保存するとともに活用を推進します。

地域への愛着や誇りの形成は、郷土の文化芸術への積極的な関わりを生み出し、まもりたい、その価値を更に高めたいという思いをはぐくみます。

① 市民総がかりで取り組む島田の教育との協働

豊かな心と学びを地域ぐるみで育むことを目指す教育と協働した取り組みを行います。特に、郷土の文化芸術に関わる学校への出前授業やコミュニティ・スクールの実施等、学校教育や社会教育との協働を促進します。

※コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。（出典：文部科学省 HP）

② 自然と文化が織りなす地域資源の再評価、認識、活用

身近に存在する豊かな自然とこれまで培われてきた文化等、見慣れた地域資源に価値を見出し、活用することで地域への愛着をはぐくみます。



- ① 大井川の恵みを源泉とした地域資源の調査と保存
- ② 祭りや伝統芸能等の担い手の育成・確保

大井川や茶畑等の景観、川越遺跡や諏訪原城跡をはじめとする文化財、地域の祭りや伝統芸能等は、地域の個性や文化の源泉となる貴重な地域資源です。

かけがえのない地域資源を大切にまもり、次世代へと確実につなげます。

① 大井川の恵みを源泉とした地域資源の調査と保存

地域を特徴づける自然や歴史、文化の状況を調査し、これらを大切に保存します。

② 祭りや伝統芸能等の担い手の育成・確保

地域や学校等を通じて地域に伝わる祭りや伝統芸能等、文化的価値のある大切な地域資源を保存・継承する担い手を育成するとともに、IターンやJターン、Uターンにより、人材を確保します。



- ① 大井川の歴史がはぐくむ文化芸術を牽引する人材の育成・確保
- ② 人材活用の仕組みの充実
- ③ 高い受容性を活かした事業所、団体、大学、高校等との連携

文化芸術に関わる活動やイベントを継続的に実施するためには、文化芸術活動を行うアーティスト等のほか、企画、運営等様々な分野における専門家の知識や技術が必要です。

既存の優れた文化芸術活動を維持させるとともに、より魅力的で質の高い文化芸術活動を実現するため、市外の優れた人材の確保、次世代を担う人材の育成、関係人口の創出、またはこれらの人材の活用を推進します。

① 大井川の歴史がはぐくむ文化芸術を牽引する人材の育成・確保

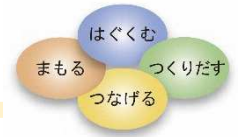
様々な文化芸術に関わる事業をプロデュースしたり、コーディネートしたりすることのできる人材を育成するだけでなく、市内外から確保し、活用することを推進します。また、このような人材が継続的に活動できる環境を充実させます。

② 人材活用の仕組みの充実

文化芸術活動を牽引していこうとする意欲のある者を支援します。文化芸術活動を自ら行う者、これらの活動を支援する者、事業や活動組織のプロデュースをする者等を活用する仕組みを充実させ、文化芸術活動に関わる組織や人材を結び付けます。

③ 高い受容性を活かした事業所、団体、大学、高校等との連携

当市の文化芸術は多様な人々を受け入れ、その個性を取り込み、発展してきた歴史があります。この高い受容性と柔軟性を活かし、市内で活動するあらゆる事業所や団体のほか、市内外の大学や高校等教育機関と連携し、多様なコラボレーションを生み出します。



- ① 文化芸術活動への柔軟な支援体制の構築
- ② 文化芸術活動団体とイベントを繋げ、交流を促進させる仕組みづくり

市内事業所等が文化芸術活動への支援を積極的に行わない理由として、支援のメリットを感じない、支援の方法がわからない等があげられます。

市内の事業者等に対して、社会貢献活動の一部としての文化芸術活動の支援に関する情報提供を充実させることで、事業所等の支援活動を推進します。

支援を必要とする側と支援をする側が柔軟に連携することで、地域の特徴を生かした文化芸術をはぐくみます。

① 文化芸術活動への柔軟な支援体制の構築

市内の事業者等に、文化芸術活動を支援するメリットや多様な支援方法を周知するとともに、文化芸術活動団体等が事業所等から支援を得やすい体制を整えます。

② 文化芸術活動団体とイベントを繋げ、交流を促進させる仕組みづくり

活動の場を求める文化芸術団体とイベント主催者等のニーズを把握し、両者を結びつける仕組みを充実させることで、文化芸術を通じた交流を図ります。



- ① 人と人を繋げる文化芸術活動の促進
- ② 景観や歴史的資源、人を活かした文化芸術活動のあり方の研究支援
- ③ 他分野との連携による物事の新しい捉え方の創出

当市は、空港が近いといった立地条件を活かしたまちづくり、インバウンド等を意識した観光の促進が求められています。また、若年層の人口流出対策や移住・定住施策、まちづくり等に、文化芸術を切り口としたアプローチが期待されています。

文化芸術の持つ市民の心を豊かにする力と観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、その他の分野を連携させ、文化芸術そのものの価値を高めるとともに、地域課題の解決に取り組みます。

① 人と人を繋げる文化芸術活動の促進

文化芸術活動の持つ人と人、人とコミュニティをつなぐ力を活かし、誰もが社会とつながり、社会参加できる文化芸術活動を推進します。

② 景観や歴史的資源、人を活かした文化芸術活動のあり方の研究支援

自然豊かな景観や歴史的価値のある資源、高い受容性を兼ね備えた人々等を活かし、時代とともに変化する地域のニーズに応じた文化芸術活動のあり方の研究支援を行います。

③ 他分野との連携による物事の新しい捉え方の創出

文化芸術と観光やまちづくり等を連携させ、新たな視点を持って社会環境の変化がもたらす課題等を捉えることで、今までにないアプローチ方法で課題解決に取り組みます。

◆市の取り組み例

事業名	内 容	担当課
歴史資源利活用事業	川越街道や諏訪原城跡等で新たな賑わいを創出し、継続的な文化財の保存を図るとともに、観光資源として発展につなげる取り組み。	文化資源活用課
アートによる地域づくり推進事業	国際交流、多文化共生、交流人口の拡大、移住定住の促進、地域の経済的波及等に資することを目的に、アート・コミュニティ推進事業を開催する、ささま国際陶芸祭実行委員会に対し、補助金を交付。	社会教育課
まちづくり支援事業交付金	公益を目的とし、地域課題の解決が図られるもの等、市内の団体の活動に対して交付金により活動を支援。この申請案件の中には、市内の地域資源や文化芸術に関連したものが多く見受けられる。	市民協働課
回復期病棟で季節毎の行事を実施	回復期病棟において、長期入院のために認知機能が低下してしまうことを予防するため、「ひなまつり」「子供の日」「クリスマス」等、季節を感じることでできる行事を実施。また、その他の病棟でも季節に合わせた掲示等で入院患者さんがリラックスできる環境をつくりだす。	病院総務課
国際友好事業補助金等交付事業	国際交流、都市提携を通じ、市民の文化等の向上を図るため、国際友好事業を行う団体に対し補助金を交付。	文化資源活用課

◆地域の取り組み例

事業名	内 容	主催者
大代ジャンボ干支	市民が稲わら等を活用して巨大な干支を製作。この作品が観光資源となり大代地区への誘客に繋がる。また、作品製作を通じて地域住民同士の繋がりを深めることに寄与している。	王子田会（大代地区コミュニティ）
しまだ元気市	毎月1回、おび通りで行われる露店市を中心とした音楽やパフォーマンスなども行われるイベント。中心市街地活性化と連携した、芸術文化の発表の場づくり。	㈱まちづくり島田
茶の実オイル・あかりアート in 菊川の里	茶の実からとった油を竹の器を使ったあかりで灯す。菊川地区のまちづくりと連携し、茶文化から生み出された新たな芸術。	菊川の里ごりやくの会
川根のぬっくいあかり展	和紙を使った手作り行燈が大鐵家山駅前通り歩道に点灯。地域の観光振興、にぎわいづくりを目的に、紙の文化を継承する行燈作品を創造・発表。	あかりアートの会
マチナカシネマ	島田市中心部を映画館に見立て、映画と限定フードを楽しむ。メディア芸術と食文化の連携によるにぎわい作り。	マチナカシネマ実行委員会

「歴史資源利活用事業」

= 文化 × 観光

＜担当課＞ 文化資源活用課

＜事業期間＞ 令和元年～

＜事業の概要＞ 川越遺跡周辺では、継続的な文化財の保存を図るだけでなく、新たな賑わいの創出により、川越遺跡の重要性を高めるとともに、観光客の誘客につながる事業を検討していきます。



川越遺跡の地図

＜連携分野＞

分野	連携内容	効果
観光	<ul style="list-style-type: none">空き家のリノベーション（改修）による商業施設や宿泊施設の整備史跡の文化財建造物の復元整備駐車場や公園の整備	川越遺跡への誘客 観光地としてのイメージづくり

＜その他関連する施策の柱＞

1 誰もが身近に参加・活動できる環境づくり

歴史的価値のある川越遺跡に、誰でも身近に楽しめる環境が整備されます。

2 大井川とともに歩むヒト・モノ・コトの交流の促進

楽しみながら地域を知ることができたり、新しいものと出会える喜びを感じたりすることができ、多くの人と文化が行き交う場を創出します。

5 郷土への愛着や誇りの形成

豊かな自然と誇るべき地域資源に価値を見出し、郷土への文化芸術への積極的な関わりを生み出します。

6 地域の文化・習慣等の保存と継承

地域を特徴づけるかけがえのない資源を大切にまもり、次世代につなげます。



川越遺跡

「大代ジャンボ干支」 = 文化 × 観光 × まちづくり

＜主催＞ 王子田会（大代地区コミュニティ）

＜事業期間＞ 平成7年～

＜事業の概要＞

地域活性化活動の一つとして、毎年稲わら等を活用した巨大な干支を製作しています。

地域の活性化に話題づくりは欠かせないものです。地域固有の資源と高い創造性から生み出された新たな文化芸術が、大きな話題となり、市内外からこのジャンボ干支を目的に訪問客が訪れるようになりました。ジャンボ干支の作品を切り口とした地域課題への取り組みの、素晴らしい事例の一つです。



出典：〇〇〇〇

＜連携分野＞

分野	連携内容	効果
観光	ジャンボ干支（文化芸術）をフォトスポットとすることで観光資源として発信。	大代地区への誘客
まちづくり	ジャンボ干支（文化芸術）を住民が主体となり作成。	地域コミュニティの強化
	ジャンボ干支（文化芸術）展示会場で、地場産品等の販売。	地域資源を販売する場の提供 地域資源の発信

＜その他関連する施策の柱＞

1 郷土への愛着や誇りの形成

生活文化の中で地域固有の資源に価値を見出し、地域外から評価を受けることで、地域の誇りの形成に繋がることが期待されます。

2 交流による参加の促進

文化芸術を通じて、多様な人々が交流を持つ場を創出しています。

3 情報の集約と発信力の強化

訪れた方々が撮影した写真を年賀状に使用したり、SNSで発信したりする。また、季節の風物詩として、新聞などに取りあげられることも多く、多様なメディアによる情報発信が行われています。

4 誰もが身近に参加・活動できる環境づくり

作品は屋外に展示されており、入場時間などの制限が無く、家族で会話を楽しみながら写真を撮影することができます。文化芸術を気軽に楽しむ環境があります。

6 地域固有の文化の創出

稲わらという地域固有の資源を活用し、他にはない文化芸術作品を創造しています。

